

8月13日　の海外相場									
COMEX/NYMEX (\$)		Gold (Dec)		Silver (Dec)		Platinum (Oct)		Palladium (Dec)	
	Open	4,396.9		64.875		1,747.2		1,372.5	
	High	4,469.0		66.980		1,809.3		1,409.0	
	Low	4389.1A		64.810		1,747.2		1,365.0	
	Settlement	4,434.3		65.700		1,769.3		1,373.9	
	Change	26.1		0.765		14.4		4.0	
EFP		\$56.00	\$58.00	¢ 10.00	¢ 20.00	\$5.00	\$10.00	-\$5.00	\$5.00

Fixing Prices		
LBMA/LPPM Fixing (\$)		
		AM
Gold		4,380.45
Silver		64.955
Platinum		1,724.55
Palladium		1,341.90
		PM
Gold		4,373.00
Silver		-
Platinum		1,733.80
Palladium		1,324.50

コメント

Precious Metal

金：下落　銀：下落　プラチナ：下落　パラジウム：下落

金銀市場は反落した。米PPIの下振れを受けた米金利低下やFRBの利上げ観測後退は支援材料となったものの、直近の上昇を受けた利益確定売りが優勢となり、金は上値の重い展開となった。銀も金に連れる形で軟調に推移した。一方で、CPI・PPIと続けてインフレ鈍化が確認されたことで金融引き締め長期化への警戒感是和らいでおり、下値では買いも入りやすい状況となった。プラチナ・パラジウム市場も上値の重い展開となった。貴金属セクター全体で利益確定売りが優勢となった一方、FRBの利上げ観測後退や米金利低下が相場を下支えた。市場では米小売売上高を受けた金利・ドルの動向が次の焦点となっている。

FX

ドル円：上昇　ユーロドル：上昇

為替市場ではドル円が小幅続伸した。7月米PPIが市場予想を下回り、前日のCPIに続いてインフレ減速が示されたことでFRBの9月利上げ観測が後退し、米長期金利の低下とともに一時159.02円まで下落した。ただ、159円付近が下値支持として意識されると買い戻しが優勢となり、米金利が低下幅を縮めたことも支えに一時159.57円まで上昇した。市場では年内の利上げ見送りも意識され始める一方、円売り圧力は依然として根強い状況となっている。ユーロドルはほぼ横ばいとなった。米PPIの下振れや原油安を背景とした米長期金利の低下を受け、一時1.1545ドルまで上昇した。ただ、その後は米金利が低下幅を縮めるとドルが買い戻され、1.1520ドル台まで押し戻されるなど方向感に欠ける展開となった。

ドル円：159.50　ユーロドル：1.1528

8月10日 週の経済指標一覧															
	08/10 (月)			08/11 (火)			08/12 (水)			08/13 (木)			08/14 (金)		
Americas				アメリカ・中古住宅販売件数 07月 [中古住宅販売件数]			アメリカ・消費者物価指数 (CPI) 07月 [前月比]						アメリカ・小売売上高 07月 [前月比]		
	前		予	前	409万件	予 405万件	前	-0.4%	予 0.2%	前		予	前	0.2%	予 0.3%
	前		予	前		予	前		予	前		予	前		予
	前		予	前		予	前		予	前		予	前		予
APAC				豪・中銀政策金利 08月 [豪中銀政策金利]											
	前		予	前	4.35%	予 4.35%	前		予	前		予	前		予
	前		予	前		予	前		予	前		予	前		予
EMEA							英国・実質GDP (速報値) 第2四半期 [前期比]								
	前		予	前		予	前		予	前	0.6%	予	前		予
	前		予	前		予	前		予	前		予	前		予